

大内かわら版 NO.15

大内地区の「地域の教科書」

- ①暮らしに関することをまとめたもの
(行事・役割、慣わしなど)
- ②地域の魅力・特徴などをまとめたもの

目的・効果

- 〔移住希望者〕大内のことを知ってもらい、知ったうえで移住してもらおう。選んでもらう。
- 〔大内住民皆様〕・地域の魅力など認識の再確認をする。
・在住行政区以外の行事・団体などを知る。
- 〔出身者・若い世代〕
地域の魅力などを情報発信し理解してもらおう。

第1段階「地域の教科書」たたき台案について

ご確認いただき、誠にありがとうございました！

たたき台案に対する「回答用紙」の結果をご報告します！

回収数 **175 枚** / 大内地区世帯数 **810 戸** / 回収率 **22%**



皆さんから「こんな写真、地図を入れたら良いのでは」「地元では当たり前のことでも外から来る人には伝わらない。行事や組織、風習など概略もあった方が良い」など様々なご提案をいただきました。貴重なご意見をもとにできる限り対応します。また移住している方・住民の声、子育てや教育に関してなどは今後対応していく予定です。

..... そのほかのご意見に関して（一部抜粋）

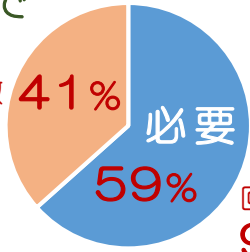
- ◆地図に入れるものとして名所、神社仏閣、食事処、観光地…などはどうか？
大内地区の「地域の教科書」は**観光案内マップ**とは違う視点で作成しているため、当分は既にある観光ガイドマップを参照いただきたいと思います。
- ◆「年間行事」に入学式など学校行事は必要？
地区に住む**多世代の方が必要と思われる催し**は掲載したいと考えています。
- ◆「暮らしにかかる費用」で合計金額や費用の詳細表記は必要？
暮らしていくために必要な費用は**移住者が住む場所を選ぶうえで大切な基準**であり、トラブルを避けるためにも記したいと考えています。
- ◆移住したいと思う魅力ある地域とは？
読みたくなる教科書とは？
教科書で何を伝えていきたいのか？
いつ、だれが、どのように活用するのか？
教科書づくりは、大内のファンになっていただいた方が**地区を選ぶ際の参考**となるものであり、移住者の**新しい生活のサポート**になるものを作りたいと考えています。
また**住民の皆さん自身に他区**の取り組みや現状を知ってもらうことで、**自分の区を改めて見つめ直し、負担の少ない暮らし方を考える機会**にさせていただきたいと願っています。

次ページから回答いただいた内容を抜粋して記しました。
一部しか掲載していませんが、このほかのご意見も今後活かしていきます。

<たたき台案についての感想>

Q1	文字	大きい 3	ちょうど良い 109	小さい 58
Q2	情報量	多い 7	ちょうど良い 146	足りない 13
Q3	写真			

必要でない
回答数 67

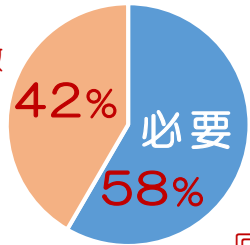


必要
回答数 96

- 自然、文化財、名所、芸能、神社仏閣、地域・季節行事、地場産品、祭り、活動・作業風景など。
- 大内の特徴的な景観。他地区にない歴史・文化・自然など。
- 季節行事や手仕事、炭焼きなど、数年後にはなくなってしまうもの。
- 上空（高い山頂）からの写真。 ほか

Q4 地図

必要でない
回答数 63

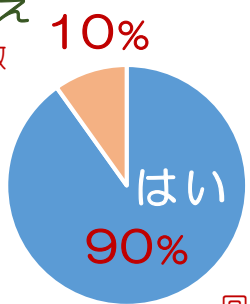


必要
回答数 86

- 文化財、名官公署、神社仏閣、食事処、観光地、防災情報など。
- 大内全体の地図（最寄りの駅、県道・国道・高速道路も入れる）。
- 各区が大内地区のどの位置にあるのか分かる地図。
- 行政区名、部落の境を入れたもの。
- 地図にイラストや写真などが入れれば楽しいのではないか。
- ゴミ集積所は行政区毎に設置しているため、地図に入れると他区の人が投棄してしまう恐れがある。 ほか

Q5 「年間行事」項目は分かりやすいですか？

いいえ
回答数 16

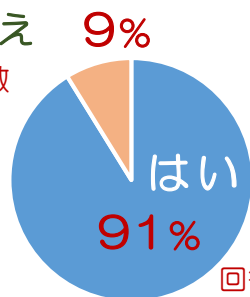


はい
回答数 146

- 左右に分けていると分かりづらい。
- 文化的行事と、義務的な地区行事(草刈など)分けて表記してはどうか。
- 学校行事が記載されているが、入学式、卒業式などは必要か。
- 各行事内容も記載してはどうか。よそから来た人は理解できない行事があるかもしれない（観音講、山の神講、念仏講など）。
- 「みずきの里丸森」のスイーツバイキングなど、若者層も目を惹くイベントも記載してはどうか。 ほか

Q6 「役割・組織」項目は分かりやすいですか？

いいえ
回答数 15



はい
回答数 155

- どの行政区も代表者など変更が多いので「〇年〇月現在」を入れる。
- 行政区毎・集落毎に整理して表記する。
- 項目毎に掲載順序を並べ替えたり、まとめると見やすくなる。
- 加入についての（記号）表記をもう少し分かりやすくする。
- 「ぜひ参加してほしい」ものは、参加しやすい工夫・記載あると良い。 ほか

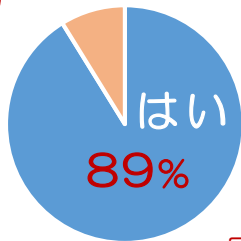
<たたき台案についての感想>つづき

Q7 「暮らしについて」項目は分かりやすいですか？

いいえ

回答数
19

11%



回答数
151

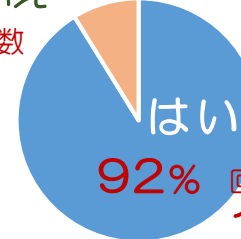
- 行政区毎・集落毎・項目毎に整理されていると分かりやすい。
- 近隣市町村への所要時間は多くみた方が良い。
- 良いことだけでなく、マイナス面も知ってほしい。
(野生動物の被害・対策状況や、冬の道路凍結など)
- 飲食店・防災・商店などは、新マップを作る時に対応すれば良い。
- ゴミ出しルールを守らない人がいるので、記載はあると良い。
- 小学生は距離に応じて町のバスで送迎、中学生は全員町のバスで丸森中学校へ送迎なども入れてはどうか。 ほか

Q8 「暮らしにかかる費用」項目は分かりやすいですか？

いいえ

回答数
14

8%



回答数
152

- 項目、配列などを工夫する。
- 集め方の違いが分かりやすいように記載する。
- 誰がどのように徴収しているか分かれば良い。
- 随時徴収分もあるため、費用合計金額は必要ないのでは。
- 金額は変更もあるので、現在の年月記入。 ほか

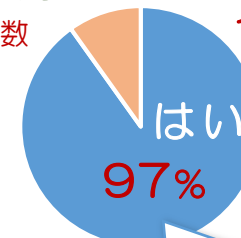
住民皆さんから移住（希望）者に伝えたいこと盛り込まれていますか？

Q9 「地域の風習」について

いいえ

回答数
5

3%



回答数
140

地域の風習は色々ある。
徐々に馴染んでほしい

- 「各家庭に残る伝統行事」のようなお正月やお盆の過ごし方として、以前はこうであったが、今ではこうなった、などもあると良い。
- 伝統文化、伝統料理、手仕事、季節行事、講行事、昔から続いている集落内・大内の決まり事など入れる。
- 「魅力ある風習」とは何なのか。これを見て移住してきたいと思う人はいるか。移住したいと思う風習とはどういうものか。
- 屋根替えなどの手伝いや「結」はなくなったが、葬儀における手伝いは行われており、交流の基点になっている。 ほか

Q10 「地域の人柄・交流」について

いいえ

回答数
7

5%



回答数
136

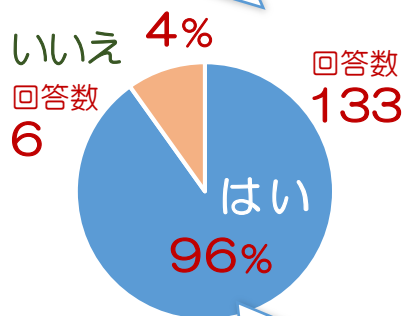
共同作業の草刈は貴重な
コミュニケーションの場

- 組織・役割の内容により、ボランティア・互助の精神が伝わってくる。
- 温厚で世話好きな方が多く、親交心強いなどの表現は一番必要なことなので、記載は必要ではないか。
- 常日頃から、笑顔で挨拶、談笑する光景が見られる。これも昔から皆で助け合う「結」の精神から自然と生まれているものだと思う。
- 移住者に交流の場に参加してもらい地域の内情など知ってほしい。
- 高齢化少子化、農業の機械化などで普段の交流はほとんどなくなった。
- 草刈は重労働だが一家の家長が出るという暗黙のルールがあるせいか、若い世代でなく70代以上が参加というケースもある。何とかならないのかと感じる。年々人手が減ってくるのも悩み。 ほか

住民皆さんから移住（希望）者に伝えたいこと盛り込まれていますか？（つづき）

Q11・Q12 「地域の魅力」について

地域住民の話も
あると良い

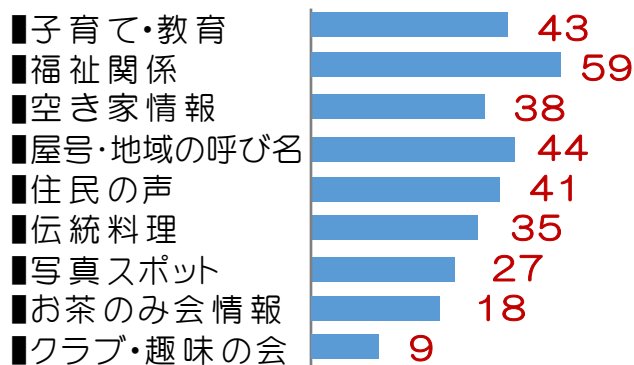


移住者にも地域の魅力
を見つけてほしい

- 仙台から程よく距離があり自然豊か。阿武隈急行線も趣あり魅力。
- 河川愛護会、道路愛護会、集落協定などの活発な活動により、生活環境は極めて良好。
- 子育ての安心・安全な環境は地区 PTA 活動・防犯活動を中心に、地域の強い絆で自然に生まれている。
- 地区外の出入りない集落だったが、ここ数年で東京圏より移住者が 2 戸入った。今までにない活況に、自区はもとより大内地区の盛り上がり大いに期待している。
- 震災の爪痕による被害はあったが、自然の豊かさは変わらない。
- 移住関連の町の取り組み内容を詳しく紹介する。
- 嫁いできたお嫁さん含め、大内外から来た方の感想があると良い。
- 高齢者の 1 人暮らしの現状についても伝える。 ほか

今後「地域の教科書」に必要なと思うことは？

Q13
・
Q14



- 集落営農、観光・歴史スポット、文化財を支える人達の声、集落の方言、移住者の意見、自主防災組織一覧表がある良い。
- 「一緒に野菜・凍み餅・豆腐・こんにゃく作りや民謡など楽しみませんか？」などの呼び掛けもあると良いのでは。
- 細部は「教科書 解説書」などを用意してフォローするのはどうか。

相違点や過不足等お書きください。

Q15 ※各区の略図※ 過不足など各区の地図に直接お書きいただきました。

- Q16
- 教科書を大内まちづくりセンターのホームページに掲載すると良い。
 - 教科書を地元だけに留めておくことなく、全国各地に住む大内出身者にも届け協力を仰いではどうだろう。
 - 今後、定期的に内容の更新も必要。
 - まずは第 1 段階を発刊後、次の段階へ(修正・改善)進めていく方向が良い。
 - いつ、誰が、どんな場で使うのだろうか、どのように活用していくのか。
 - 教科書づくりのねらいとして「次の世代に繋いでいく」と以前かわら版に書いてあったが、何を伝えたいのかははっきり明記した方が良い。
 - 住んでいる者（特に地域を離れたことのない人）は意識がないと思うので、移住希望者にとって「どんなところに魅力を感じているのか」「どんなことを知りたいと思っているのか」が住民に分かると良い。 ほか

読んでもらえる
教科書とは？



ご協力いただき、誠にありがとうございました！

皆様のご意見を参考に、第 1 段階の教科書発行に向け修正作業を進めていきます。また不明点などお聞きすることがあるかもしれませんが、よろしくお願いたします。